

皮膚科

当科は皮膚科疾患全般にわたり診断できる対応を整えています。見た目だけの診断が困難な疾患に対しては、皮膚病理組織検査を行ない確定診断することにしていきます。治療に関しては、可能であれば通院で、入院が必要な場合は入院していただき、それぞれの患者さんの症状や状態によって行なっています。

また、美容皮膚科として、レーザーを使用した老人性色素斑などの治療や脱毛を行

うとともに、ニキビなどに対するケミカルピーリングも行っています。

皮膚科部長 押谷 佳美



泌尿器科

1962年(昭和37年)中部労災病院に泌尿器科が開設されてから今年で48年目を迎えました。この間2007年(平成19年)7月より新外来棟2階にて新たな外来診療がスタートしました。診察室2、内視鏡室1、超音波検査室1、処置室1、性機能測定&診察室1、尿波室1で患者さんのプライバシーを配慮して快適に受診されるように設計に工夫がなされております。

高齢化社会を迎えて、前立腺肥大や夜間頻尿などの下部尿路疾患、また前立腺癌や膀胱癌などの尿路性器の悪性腫瘍が昨今増

加しております。患者さんのニーズに沿った最新の診断、治療が当科のモットーです。尚、(月)(水)の午後は性機能専門外来を開いておりますので、併せてご覧ください。

泌尿器科部長 小谷 俊一



産婦人科

産婦人科は5人の医師が診療に携わっています。当科の特長として、外来受診時から入院手術に至るまで、可能な限り同じ医師が主治医として担当するようにしています。若い医師であっても上級医師のバックアップが整い、治療方針が違うことはありません。主治医の変更も自由ですから、遠慮なく看護師や受付に申し出てください。子宮癌、卵巣癌、妊娠・分娩、不妊、更年

期障害に至るまで高度な医療を提供しますので、安心して受診してください。

産婦人科 副院長 加藤 千豊



★「フィリア・レター」は、「中部ろうさい」病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発刊しています。